

<< T.O 主任マニュアル >>

茨城県ミニバスケットボール連盟

2014. 4. 1ルール改訂対応

2014.11.27改訂

TO主任の役割

1. 担当する試合のTOについて全責任を持つ。
2. 審判、TOチームとのコミュニケーションをとり、円滑にゲームが進められるように心がける。

ゲーム中の確認事項

全てを同時に確認することは不可能なので、
①その瞬間の重要度
②子ども達の習熟度、等を見て、確認のポイントを定める。

試合が動いている時は、主に、タイマー、30秒オペレイターのスタート、ストップの正確さを確認する。

試合が止まった瞬間、動き始めた瞬間に、時計に目がいく習慣をつける。

試合が止まり余裕のある時、スコアシートの記入が正確に行われているか確認する。

■スコアラ―とアシスタントスコアラ―に対して

① スコアボードの得点とランニングスコアの得点があっているか

② プレイヤーファウルの回数とチームファウルの回数があっているか

③ プレイヤーファウル5回目の合図が素早く行われているか

④ チームファウル4回目の合図が素早く行われているか

ベンチからの請求が遅れた時など、請求の認否について明確な指示を出す。

⑤ タイムアウトの請求と合図が正しく行われているか

⑥ 矢印(ポジション・アロー)の取扱が正しく行われているか

⑦ スコアシートにおかしなところがあったり、一方のチームから疑義の申し出があった時は、ゲームクロックが止められている時に、審判に知らせる

■タイマーに対して

① ゲームクロックのスタート、ストップが正しく行われているか。

② スタート、ストップのタイマーの合図が正しく行われているか。

③ タイムアウトの50秒、60秒の合図が正しく行われているか。

④ 各時限の終わりのブザーを正しく鳴らしているか。

●勝敗を左右します。タイムインの判断を正確に。
「コート内の選手がボールに触れた瞬間にスタート。」
緊迫した場面では、声に出して確認。

タイムアウトの計測のみストップウォッチを使う

デジタルタイマーのブザーではなく、別に用意したホーンを使う

■30秒オペレイターに対して

・30秒計のスタートとストップが正しく行われているか。

① シュートが成功した後のリセット、スタートの判断が正しいか。

② ボールがシューターの手から離れ、バスケットに入るかリングにふれたときはリセットし、リングに触れなかった時は継続の判断ができているか。

③ ボールを保持していたチームから相手チームの保持に切り替わる時のリセットの判断が正しいか。

コート内の選手がボールを保持した時から始める

ゲームクロックと違い、ボールに触れただけではスタートしない

試合前に、新ルールにおける30秒計のリセットと継続の違いが正しく理解できているか確認する。

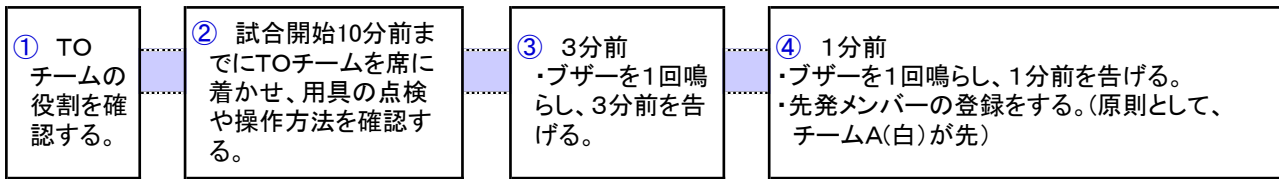
リセットする場合の5事例、継続する場合の4事例について正しく行われているか確認

TOマニュアル参照

もっているボールがたたき落とされたり、パスしたボールが相手チームにふれたりしても、チームとしてのボールの保持は終わらない。

ゲームの流れとチェック項目

◎試合開始前

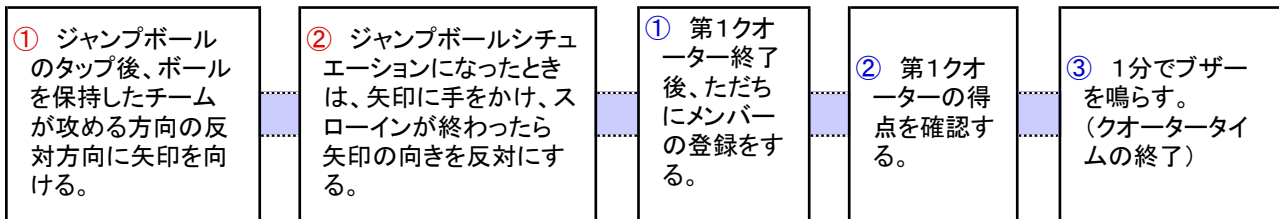


◎試合開始

1. TOチームの試合開始のあいさつは、座ったまま行い、試合開始に備える。
2. オルタネイティブ・ポゼッション・ルールの矢印は上に向けておく。

★役割確認：アローの操作、ブザーの操作、ストップウォッチの操作等補助的役割も明確にする。

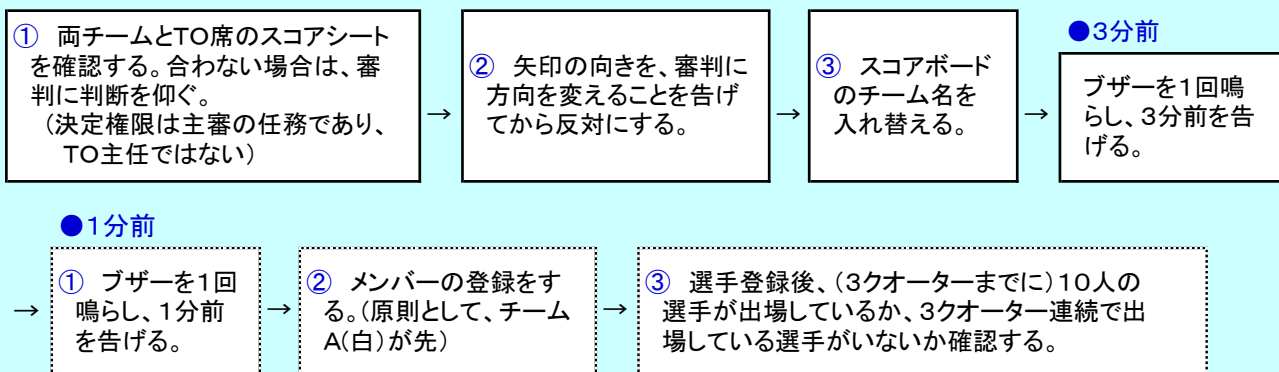
●第1クォーター(6分)とクォータータイム(1分)



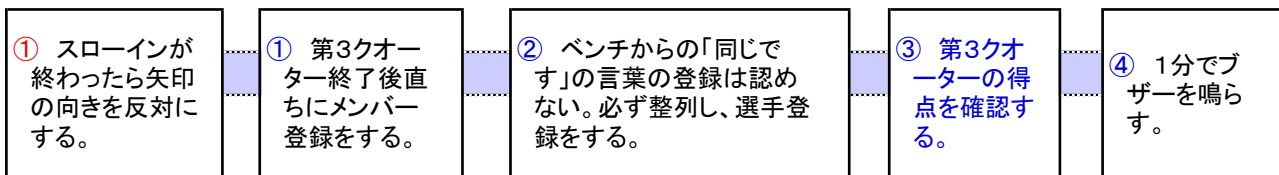
●第2クォーター(6分)

1. スローインが終わったら矢印の向きを反対にする。

◎ハーフタイム(5分)



●第3クォーター(6分)とクォータータイム(1分)



●第4クォーター(6分)と試合終了

